

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

フォーラムの進め方について

(総合 F) 次のプログラムに移ります。

ここで、フォーラムの進め方などをきちんと説明しないといけないと思いますので、NPO 法人パブリック・アウトリーチの神崎から、お話をさせていただきたいと思います。説明の後、ご質問をお受けする時間を取りたいと思います。

(神崎) NPO 法人パブリック・アウトリーチの神崎でございます。最初に皆さんにお配りしてある「フォーラムへのご協力のお願い」に基づいて、説明をさせていただきます。

2 ページ目の「フォーラムの実施方法」以下に関して、具体的に説明いたします。

フォーラムは今日から 5 回連続して、2 週ごとに行なわれます。皆様にはこの 5 回全部に参加していただくことになります。今日 (5 月 25 日)、6 月 8 日、6 月 22 日、7 月 6 日、7 月 20 日の 5 回でございます。それぞれの実施内容の予定が書いてありますが、話し合う内容については、フォーラムが進行していくにつれて変わっていく可能性がございます。各回の最後に次回についての打ち合わせという時間を取っておりまして、皆さんで検討していただきたいと思っております。

この 5 回のフォーラムが終わった時点で、一般公開シンポジウムを行うことになっております。今のところ、9 月の土日、祝日を予定しておりまして、できるだけ早く日程を決めたいと考えております。

次のページに、「フォーラムおよびシンポジウムに関する情報の公開」という項目がございます。フォーラムで皆様がお話になったことは、チャタムハウスルール、この下に詳しく書いてありますが、を適用して、個人が特定できない形にしてホームページで公開し、フォーラムの運用についての公平性を保証いたします。

研究における必要上、皆様のご同意を得た上で、録音・録画をさせていただきます。これらはフォーラムの議事録の作成や、研究者の学術的分析のみに使用し、その他の利用はいたしません。学会などの学術的な発表の場でも部分的にも公開はいたしません。

また、フォーラムには、研究関係者、または資金提供関係者以外の立ち入りはございません。今日は研究関係者のみ立ち会っております。マスメディア等への対応は、研究者およびホームページに公開されたデータに基づいて行われ、皆様の個人情報が外へ流出することはございません。

チャタムハウスルールというのは、その会議で得られた情報を利用できるが、その情報の発言者やその他の参加者の身元および所属に関して秘匿する義務を負う、というルール

です。このルールを適用することによって、参加者は自分の所属する組織への配慮や、発言が自らのものとして公表された際の影響を度外視しやすくなるため、活発な議論をもたらすとともに、情報の共有が促進されることが期待されています。このチャタムハウスルールに基づいて、情報の公開をいたします。

次に、全5回のフォーラムが終わった後のインタビューの実施についてお話します。全5回のフォーラムに参加していただいたあと、よりよいフォーラムを作っていくために、個別にインタビューをさせていただきます。インタビューでは、フォーラムに参加してどうであったか、よりよくするためにどうしたらよいかというご意見を詳しく伺います。インタビューは全5回のフォーラムが終わったあと、8月から開始いたします。日程はフォーラム終了後に別途調整させていただきます。

フォーラムの参加に伴う謝金は、1回につき5000円、インタビュー5000円で、合計3万円になります。

フォーラムの実施者は、原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブの課題、「『原子カムラ』の境界を越えるためのコミュニケーション・フィールドの試行」の研究実施者、木村浩(NPO 法人パブリック・アウトリーチ)、土田昭司(関西大学)、神崎典子(NPO 法人パブリック・アウトリーチ)、諸葛宗男(NPO 法人パブリック・アウトリーチ)、篠田佳彦(若狭湾エネルギー研究センター)、別府庸子(兵庫県立大学)、久保稔(NPO 法人パブリック・アウトリーチ)、および、研究協力者であるNPO 法人持続可能な社会をつくる元気ネットのメンバーの方々です。

このフォーラムは、平成25年度原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブの課題、「『原子カムラ』の境界を越えるためのコミュニケーション・フィールドの試行」(文部科学省)の資金によって実施されています。

皆さんはこのフォーラムに参加することがお決まりになったわけですが、改めて、最後のページに書かれている「フォーラム参加に関する諸条件」を詳しく読ませていただきます。

一番上の協力者の資格については省略させていただきます。

参加の任意性について。フォーラムへの参加は任意です。フォーラムへの参加をお断りになることにより不利益を被ることはありません。また、一度参加に同意した場合においても、参加への同意をいつでも撤回することができます。撤回に伴い不利益を受けることはありません。

フォーラムの参加に伴う危害の可能性とそれに対する配慮について。ここは詳しくご説

明いたします。

1、募集時に研究の目的およびフォーラムの概要、個人情報の取扱、これは連結不可能匿名化して扱うと書いてありますが、について説明いたします。「フォーラム参加申込書」を提出された場合、協力の同意を得られたとして、協力者として研究に参加していただく候補となります。実際に候補となられた後、ここに来られた皆様は、フォーラム協力者になっていただきました。

2、第1回フォーラムのオリエンテーションにおいて、再度研究の目的およびフォーラムの概要、個人情報の取扱について説明し、協力の同意を再確認いたします。ここで、同意の確認が得られなかった場合は、フォーラムへの参加を取りやめることができます。いかがでしょうか？

3、各回の冒頭で、録音や録画についての協力をお聞きし、同意が得られた場合に、録音や録画を開始いたします。同意が得られなかった場合、その回の録音や録画は取りやめます。この録画の映像は、学術的な場で使わせていただくかもしれませんが、その際は皆様に説明し、ご了解を得るようにいたします。いかがでしょうか？

4、フォーラムにおいては、協力者が答えられない、もしくは、協力者が不快と感じた質問項目については、当該項目の回答を強要いたしません。

5、フォーラム途中で協力を取りやめる旨が示された場合は、速やかにそれに対応いたします。いつでも取りやめることができるという条件が書いてございます。

その次は、傷害保険等への加入についてと書いてございますが、フォーラムの実施者、私どもは団体障害保険に加入しておりまして、実施者に損害賠償の責任が生じた場合は、補償に対応できるようになっております。

フォーラム参加申込書の情報の取り扱いについて。お知らせいただいた個人情報は、フォーラムに係るお知らせ、連絡や問い合わせなどの目的で、本研究のみで利用いたします。それ以外の目的で利用したり、法令で定める場合を除き、事前に皆様の同意を得ることなく、第三者に提供することは一切ありません。

また、「フォーラム参加申込書」は調査実施の委託先である社団法人輿論科学協会宛てに送られましたが、委託先で開封することはなく、未開封のまま木村浩に届けられました。

最後です。研究成果の公表について。本研究によって得られた研究成果は、様々な学術的な場等において公表いたします。また、知見の一部は文部科学省に対して開示されます。

以上でございますが、何かお気になる点がございましたら、お願いいたします。

(総合 F) ご質問がある場合はいつでも言ういただければと思いますが、今は最初ですので、この段階で何かお気になる点があれば、お願いいたします。

—— フォーラムの開催場所は、全部ここですか？

(神崎) 全5回、すべてこの会場を確保しております。同じ場所でございます。

(総合F) シンポジウムもありますよね。

(神崎) シンポジウムは、今、東京大学構内の会場を考えておりますが、日程が決まり次第、場所を確定したいと思っております。都内の予定です。

(総合F) 木村さんから補足があるようです。

すみません、今、私は木村さんと言いましたが、これからこのフォーラム、いろいろな方がいらっしゃると思いますので、全員「さん」づけということによろしいでしょうか？ ありがとうございます。

(木村) このフォーラムに関しましては、調査も並行して行わせていただきます。学術的に分析をするということも目的のひとつになっておりますので、申し訳ありませんが、ご協力をお願いしたいと思います。

なお、アンケート調査に関しては、土田さんから簡単に説明をいただいたほうがよろしいかと思えます。

(土田) 土田でございます。

このフォーラムでは、ご発言を録音して議事録を作ることになるのですが、発言できなくても心の中で思っていたこととか、うまく伝わらなかったけど、自分の真意はこうだったんだ、ということがあられると思うのです。そこで、アンケートを頻繁に取らせていただきます。

ひとつ問題がありまして、何回も取りますので、同じ方の回答がちゃんと続けて分かるような形にしたいのです。そうしますと、記名で答えていただくのが一番いいわけです。そこで、基本的には、同じ方からの回答だということを把握するためだけにお名前を使います。マッチングができていけば、それはすべて破棄する形でいきますし、外には一切記名であるというようなことは出ません。ある方が、1回目の質問にはこうお答えした、2回目はこうお答えした、ということが分かるような形にさせていただきます。

それを厳密にするために、私が責任を負うことにいたしまして、原票、答えてもらったそのものの票は、私しか見ません。あとはこの研究者も含めて、全ての方が匿名の、記号化された、Aさんという方がこう答えています、という形のデータに落とさせていただきますので、その旨ご了承いただければ大変ありがたいのですが、よろしいでしょうか？ ありがとうございます。

(木村) そのために、本日お配りしたファイルの中に封筒が入っていると思いますけれども、本日のフォーラムが終わったときにアンケートに記入していただきますが、記入していただいたアンケートは封筒に入れて、封をしていただいて、土田さんが回収するという段取りになっていますので、ご協力をお願いしたいと思います。

(総合 F) 他に、進め方についてご質問はありますか？

—— 私は Facebook をやっているのですが、ここに書かれていることを見ると、あまりそういったもので不特定多数の方が見るような形で、我々も発信してはいけないのかなと思うのですが、ここには特にその点は触れていないので、その辺りのルールを教えてくださいませんか。

(木村) それに関しましても、できれば情報の公開のルールに従っていただければと思います。少なくとも、個人の名前が特定できないような形、ということは最低限守っていただきたいと思います。

フォーラムの内容に関しては、こちらのホームページで、個人が特定されないように管理をした上で公開いたしますので、そちらを見ていただけるような、そういう仕掛けで言っておいて、くらいに留めていただきたいと考えております。

—— 参加しているということ自体は、自分が出してもいいと思えば、オープンにしても構わないということですか？

(木村) ご自身のことだけ話すのであれば、それは構わないと考えております。

(総合 F) このフォーラムは、研究として、内容をきちんと公開しながら進めていきますので、発信の仕方に関してご配慮いただければということで、よろしく願います。

—— 原子力学会参加者という区分けがすでにされているのですが、原子力学会に特に何の連絡もないし、特に学会から出たという意識もなく、個人的に参加しているのですが、今後、この原子力学会員という区分けでいろいろまとめられるのでしょうか？

(木村) 研究の分析のその先ということですか。ひとつのパラメータとしては使わせていただきますけれども、具体的には個人個人がどのように変化していったのかということ进行分析していきますので、原子力学会とは一枚岩としてこういうものです、という形になるとは限りません。

—— 原子力学会からすると、会員をここに参加させたということは何もないので、もしそういう形で公になった場合、どうなのでしょう？

(木村) 学会の中で特別専門委員会を設立して、この取り組みの中で実施することの大筋をお知らせをして、承認を得ています。

(総合 F) 重ねて私から質問なのですが、例えば、原子力分野の専門家 10 人に集まっていただくために、原子力学会の会員にお声をかけたということなのでしょう？ どのように理解したらいいのか、再度説明していただけますか。

(木村) 原子カムラというものが何なのかということをはっきりとさせた上で、どうしたらその境界を越えていけるのかということを考えていくことが、この研究の大きな目的ではあるのですが、いかんせん原子カムラというものが何者かということが分からないので、まずは原子力に携わっている方からも、原子カムラって何なのかということをお話していただきたいということです。

今回、原子力学会の方を原子力に携わっている人としてお呼びをしていますけれども、それが原子カムラの中の人だ、外の人だというのはまた別の議論だと考えていただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(総合 F) よろしいでしょうか？ ありがとうございます。

それでは、またご質問があればと思いますが、このような流れで進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。